

2010(平成22)年7月1日

第110号

毎月発行

編集

公民館だより編集室

発行

西東京市公民館

西東京市

公民館だより

田無公民館

南町5-6-11
TEL 461-1170

芝久保公民館

芝久保町5-4-48
TEL 461-9825

谷戸公民館

谷戸町1-17-2
TEL 421-3855

柳沢公民館

柳沢1-15-1
TEL 464-8211

ひばりが丘公民館

ひばりが丘2-3-4
TEL 424-3011

保谷駅前公民館

東町3-14-30
TEL 421-1125



きつかけは1人のHPから

田中のり子さんがホームページを立ち上げたのは、平成17年4月1日。子育てにまつわる行政手続きなどの情報を紹介するものでした。

さらに田中さんは緑町に一軒の喫茶店をオープンします。その店「なちゆるん」はお母さんと乳幼児と一緒に過ごせるように、というコンセプトで経営されています。

田中さんの活動に、同世代のお母さんたちがコンタクトし始

子育てにはさまざまな悩み、不安がともないます。社会の側にも、子育て支援の必要性が求められています。

市内には、少し新しい形ですが、一歩を踏み出したお母さんたちがいます。

完成披露会、晴れやかに

3月9日(火)、田無駅北口アスタ2階センターコートで、マップの完成披露会が開催されました。当日はスイーツや手作り雑貨の出店も設けられ、お母さん仲間がアイリッシュハーブ奏者

「いいいこおでかけ隊」と称して取材を敢行。わずか3ヶ月でマップは完成しました。資金面では企業の助成金を得つつ、「根性で」作り上げたといえます。

講座に参加したことがきっかけで仲間に加わったのが、青柳さん、所さんです。

「公園デビュー」という言葉がありすが、もともと親しい母親同士がグループになっていて、その輪には入れないという状況があるようです。母親学級時代の仲間がいない転入者などは、人間関係が限られることもあります。

一方、子どもを介した関係性「ママ友」では満足できないという人もいます。共通の話題、関心、目標を持つ者同士で語り合いたいという気持ちは、自然なものです。

最近ではソーシャル・ネットワークキング・サービス(インターネット上のコミュニティ)で仲良くなるお母さんたちもいるようです。

社会参加については「子どもが幼稚園に入るまでは」とよく言うが、それはもったい

「遠くても素敵な公園だったので行って来ました」

と感想が寄せられています。メンバーは現在、マップ第2弾作成に向けて動き始めています。

仲間作りから社会参加へ

「公園デビュー」という言葉がありすが、もともと親しい母親同士がグループになっていて、その輪には入れないという状況があるようです。母親学級時代の仲間がいない転入者などは、人間関係が限られることもあります。

一方、子どもを介した関係性「ママ友」では満足できないという人もいます。共通の話題、関心、目標を持つ者同士で語り合いたいという気持ちは、自然なものです。

最近ではソーシャル・ネットワークキング・サービス(インターネット上のコミュニティ)で仲良くなるお母さんたちもいるようです。

社会参加については「子どもが幼稚園に入るまでは」とよく言うが、それはもったい

仲間づくりから社会参加へ

西東京子育て「コム」

稲垣涼子さんの演奏も披露されました。

用意したマップ200部は、あつという間になくなりました。

「母親目線で作ってあるので、本当に必要な情報が載っている」

「遠くても素敵な公園だったので行って来ました」

と感想が寄せられています。メンバーは現在、マップ第2弾作成に向けて動き始めています。

子育てマップ作り始動

平成20年9月、ホームページや「なちゆるん」で知り合った仲間の間で「子育てに役立つマップを作ろう」という話が持ち上がりました。東久留米市で同様のマップが作成されたことにも刺激を受けてのことです。

話が具体化していく中で、タウン誌の記者を講師に、講座の開催もしました。

講座に参加したことがきっかけで仲間に加わったのが、青柳さん、所さんです。

「公園デビュー」という言葉がありすが、もともと親しい母親同士がグループになっていて、その輪には入れないという状況があるようです。母親学級時代の仲間がいない転入者などは、人間関係が限られることもあります。

一方、子どもを介した関係性「ママ友」では満足できないという人もいます。共通の話題、関心、目標を持つ者同士で語り合いたいという気持ちは、自然なものです。

最近ではソーシャル・ネットワークキング・サービス(インターネット上のコミュニティ)で仲良くなるお母さんたちもいるようです。

社会参加については「子どもが幼稚園に入るまでは」とよく言うが、それはもったい

「遠くても素敵な公園だったので行って来ました」

と感想が寄せられています。メンバーは現在、マップ第2弾作成に向けて動き始めています。

仲間作りから社会参加へ

「公園デビュー」という言葉がありすが、もともと親しい母親同士がグループになっていて、その輪には入れないという状況があるようです。母親学級時代の仲間がいない転入者などは、人間関係が限られることもあります。

一方、子どもを介した関係性「ママ友」では満足できないという人もいます。共通の話題、関心、目標を持つ者同士で語り合いたいという気持ちは、自然なものです。

最近ではソーシャル・ネットワークキング・サービス(インターネット上のコミュニティ)で仲良くなるお母さんたちもいるようです。

社会参加については「子どもが幼稚園に入るまでは」とよく言うが、それはもったい



サークル訪問

西東京シニア弦楽アンサンブル

火曜日の午前中、谷戸公民館では、弦楽の調べが館内に響いています。その音色に誘われるように講座室に入ると、高齢の方々が、ハリのあふ美しい音色で奏でていました。

西東京シニア弦楽アンサンブルは、平成19年10月に柳ヶ瀬さん、松村さんが発起人となり、合奏をのんびり気楽に楽しみな

がら、より豊かなセカンドライフを過ごしたいという思いの仲間が集まりスタートしました。

サークル名にシニアが入っているとおり、60歳以上の方を入会の条件としており、現在の会員数は、11人、平均年齢は70歳に近い60代といいますが、いえいえ、見かけはまだまだ現役バリバリの雰囲気。

取材当日は、『アルルの女』よりメヌエットを演奏していただきました。みなさん真剣な眼差しで楽譜を追いかけます。ゆったり流れるメロディ、調和のとれたハーモニーに癒されます。演奏中の表情は、プロ顔負けです。

チェロを演奏する田中さん、川崎さんは、57歳から始めたそうです。また、二人ともご家族の介護をされつつサークル活動に参加しています。

「思い立った時が始める時」目標を立てて適度な緊張感を持ち、生活することが心にも身体にも良い! また、「独奏の楽しさもあるけれど、心を合わせてみんなで演奏するアンサンブルの楽しさを味わっています」



西東京シニア弦楽アンサンブルは、市内、また近隣の、高齢者や障害者の施設を訪問し、これまでの練習の成果を披露し、音楽の喜びを共有しています。これからもこのような形で、音楽を楽しんだり仲間と音楽話に花を咲かせたり、また音楽を通じて地域に貢献できたらと考えています。ご要望がございましたら気軽に声をかけてください。

会では、会員を募集しております。アンサンブルを楽しみたいと思っっている方、入会をお待ちしています。

連絡先 柳ヶ瀬 ☎ 469・5371
松村 ☎ 464・6476